

黒板吸着式ホワイトボード

特徴

- ・ 学校の黒板に吸着できる簡単なホワイトボード (A2 サイズの大型)
- ・ マーカーペンで書きやすい 25mm 方眼付
- ・ 裏面の上部にマグネット (3箇所)
- ・ ボード面は、汚れてきたら張替えが可能

寸法 背板: 600 横×428 縦×7 厚さ
消せる紙: 594 横×420 縦×0.2 厚さ

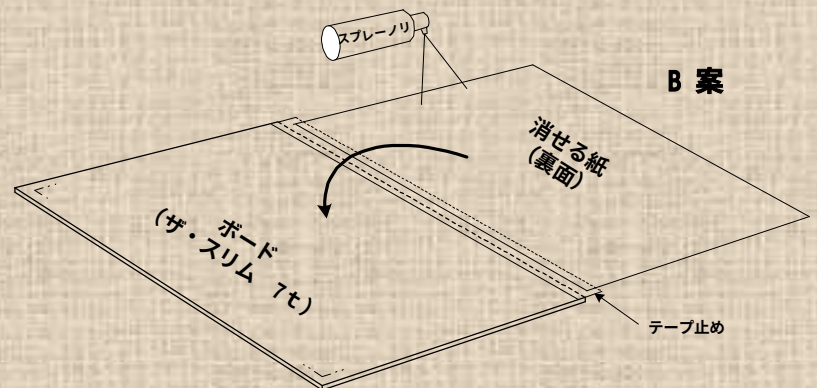
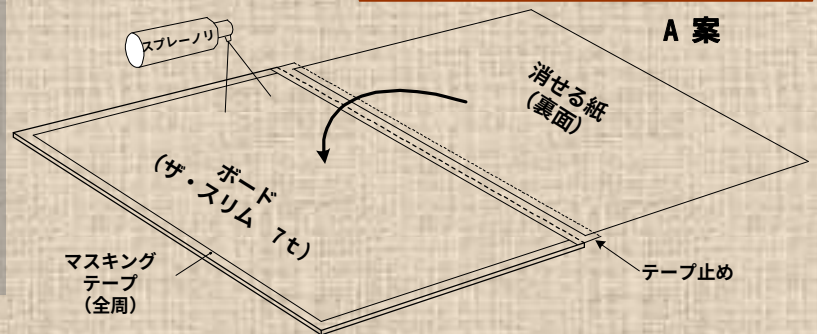
材料 背板: ザ・スリム、消せる紙 (A1)

重量 190 g (マグネット 20 g 含む)

製作費 4,054 円/6 個 (ノリ代含む)

完成: 2011 年 7 月

PS: 子ども達がグループ発表などをする際に、このボードを使って授業をするそうである。簡単に消したり書いたり出来る上に、ボードが黒板上を自由に動き廻れるので、分かり易く楽しい授業になるのかも・・・。



↑ B案で貼り付けた結果 (失敗作)

シミは残るわ、気泡も目立つで散々な結果。簡単なノリ付けでも、近道はないことを実感させられた。

裏話 小学校の先生から相談を受けた時、「極力軽くしないと黒板に吸着しない・・・」と云われ、建材用の安価なボードを探し当てる。防吸水処理がしてあり、発泡スチロールに比べて平滑で剛性もあるので、背板はこれに決定。

- ・ サンプルを作って、実際に黒板に吸着させてもらい、磁石の数量・位置も確認してから本製作に入った。
- ・ サンプル製作時は、手持ちのノリが空になる寸前で、結果、薄くしかスプレー出来ず、隅が少し剥がれるくらいだったが、本番では数 (6 個) もあることから、上図の 2 つのノリスプレー方法が考えられた。
- ・ A 案では、全てのボードの周囲にマスキングテープを正確に貼らなければならないので、つい B 案を選択してしまう。更に、ノリを「再接着可能型」から、より剥がれ難いようにと、一段上の強度のものに変更してしまったのもいけなかった。(3M 製スプレーノリ S/N55→77) 後で、再接着型の良さを思い知らされることになるとは・・・。
- ・ 消せる紙は、表面に特殊なコーティングがしてあるとは云え、所詮紙なので、77 スプレーノリをたっぷりスプレーすると、少ししんなりした感じになるが、紙厚(0.2mm)があるので結構シッカリ貼れたと思った。
- ・ ところが、ノリの成分なのか、何日経ってもシミが消えてくれない。オマケに気泡も目立つ。貼り付ける時にこすったので、やわらかくなった紙が、あちこち伸びたのかも知れない。(裏から針で突っついたり・・・散々)
- ・ 結局、こんな不出来品を渡せる筈もなく、ボードも消せる紙も作り直し、ノリも 55 型を求め直し、A の方法で再製作することに。(押さえ込みには、ソバ屋の如く丸棒を転がしながら均等に押さえ込んだのも正解だった。)
- ・ ノリは、どちら側に付けるのがベストか、素材と相談して検討すべきと、とても勉強になったテーマだった。